

やまぐち 市議会だより



地域を守る想い 未来へつなぐ

定例会特集……………	2
議案の審議結果……………	5
委員会ア・ラ・カルト……………	6
市長に聞きたい!……………	8
議会からのお知らせ……………	14



補正予算に関する議論 ピックアップ!!

6月 定例会

2025年
6/9～6/30

上程された議案等

予算

3件

条例

13件

事件議決

11件

委員会提出

2件

請願

3件

令和7年第2回定例会では、市長提出の補正予算、条例改正や物品の取得等の議案をはじめ、請願を含む全32件を慎重に審議しました。
補正予算については、新たな公民連携の手法を活用した事業や給食食材費の支援等について、本会議の一般質問や委員会審査での質問や指摘などを通じて活発な議論を交わしました。

山口市ずっと元気・PFSプロジェクト

【1,000万円+※債務負担行為設定】

PFS（成果連動型民間委託契約方式）とは、社会課題の解決を目指してあらかじめ成果指標を定め、その達成度に応じて民間事業者者に報酬を支払う仕組みのこと。

山口市では、上記の仕組みを活用し、地域経済の活性化や高齢者の生活の質の向上を目的とし、将来的な介護給付費の上昇の抑制を図る等の効果も期待できる実証事業を実施する。また、令和8年度から令和12年度までの期間で、9,000万円を限度額とする※債務負担行為を設定し、高齢者等を対象とした、健康づくりにつながるプログラムに複数年度にわたって取り組むこととしている。

※債務負担行為とは

事業が単年度で終了せず、後年度にも支出しなければならない場合に、あらかじめ後年度の債務を約束する予算を定めること。

指摘・要望

- 事業費の2分の1が国の交付金として確保され、かつ、一般財源の負担を軽減していくために、今後も他の補助金や企業版ふるさと納税等の活用を検討されていくことは評価するが、成果達成度をどのように評価していくのが現状では見えないところであり、今後適切な事業実施をされるよう努めていただきたい。
- 成果に連動して受託事業者を支払う報酬が変動するため、受託事業者においてもより良い成果が出るよう工夫し、結果として高品質な事業実施につながるものであり、新たな公民連携の手法として今後の取組に期待する。

下水道管路の調査

【2,400万円】

国の大規模下水道管路特別重点調査事業に対応して下水道管路の調査を実施する。実際に管路内に入っただけの目視による損傷状況の確認や、流量が多い管路についてはテレビカメラやドローンによる検査を検討している。

指摘・要望

- 計画どおりにしっかりと実施していただきたい。
- 点検にあたっては、点検者の安全を確保した上での実施を求める。



地域課題の解決等に資する事業の 立ち上げを支援

【1,890万円】

国のローカル10,000プロジェクト（地域経済循環創造事業交付金）を活用し、地域課題の解決や地域経済の活性化に資する事業の立ち上げを支援する。今回の事業では、原材料から販売までの地域内循環を目指した酒類の醸造所の設置と酒類を提供する場の整備を今後支援していく。

高騰する給食食材費を支援

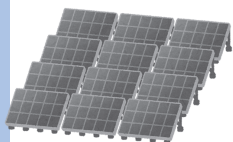
【2,320万円】

物価のさらなる上昇や高止まりが続く中、これまでどおりの栄養バランスや量を保った給食を提供できるように、私立保育園及び幼保連携型・保育所型認定こども園の食材費の上昇分を支援する。

指摘・要望

- 物価高騰による影響分は、県の要綱に基づき令和3年度を基準に、令和7年度の年間見込額で算定し、各園の実情を踏まえた適切な対応ができることを確認した。
- 物価高騰への対応であることから、スピード感を持って対応していただきたい。





地域に配慮した太陽光発電設備の設置

問 太陽光発電設備の設置については、景観や生活環境等を守りたい地域住民と、私有財産の有効活用等を図りたい地権者との間でコミュニティの崩壊につながりかねない行き違いが生じている事例もある。これを受け、地域や事業者ヒアリングを実施し、国・県の動向や先進事例を参考に、令和7年度中をめどに新たな行政手続の仕組みの整備に取り組む意向が示された。このヒアリングにより明らかになった現状と課題について伺う。

答 計画段階での説明不足や設置後の管理不備、事業者との連絡が困難になるといった課題が明らかとなった。一方で、土地活用の有効策として肯定的な意見もあった。事業者と地域の方が意見交換できる仕組みづくりや、設備設置後の適正な維持管理、周辺の土地利用との整合を図るべき区域設定などの課題解決のため、環境審議会からの意見も踏まえたルールづくりについて検討していきたい。

問 再生可能エネルギー導入促進のための条例制定に取り組むべきと考えるが、市の見解と検討状況を伺う。

答 ゼロカーボンシティの実現に向けた再生可能エネルギーの普及促進は重要と認識している。一方で、生活環境の保全や地域づくりへの影響にも配慮し、それらの整合を図っていくためにも、令和7年度中の条例によるルールづくりに取り組んでいきたい。

農業振興の取組

問 農作物の出荷調製作業は、収穫から選別、出荷まで生産者が行うのが一般的であり、キャベツなどの重量野菜は高齢の生産者にとって大きな負担になっている。出荷調製作業を一元化できれば省力化され、その時間を生産活動に注力することで生産性も上がると思うが、どう考えるか？

答 さらに生産拡大には作業の機械化や栽培管理の徹底と併せ、集出荷体制整備が重要な要素となる。JAでは、令和10年稼働を目標に市内にタマネギ集出荷施設整備を計画され、現在最終的な建設場所の検討や、出荷量、生産者数の現状把握を行うなど、施設建設に向けた作業を進められており、まずは生産者が野菜など園芸作物の増産に取り組むことのできる体制づくりや、農産物のブランド化、産地化への支援を行う。



問 農地の集約、大規模化が難しい中山間地域において、農業生産者が将来に希望を持ち、地域で暮らすことができるための農業後継者の確保や、所得向上といった農業振興についての考えは？

答 中山間地域においては、水稻作付に加え、これまでの生産技術を活かし、主食用米から国が推奨する飼料用米や米粉用米、小さな面積でもより高い収益性を見込めるトマト等の園芸作物への転換を進めている。また、地域活性化起業人制度を活用し、阿東地域で水田の高度利用や有機栽培といった農業技術が導入可能か検証する。集落営農法人等での新たな雇用にもつながるものであり、将来的には各地域に広げていけないかと考えている。

山口市まちなかウォークابل推進ビジョン（案）について

このたび取りまとめられた「山口市まちなかウォークابل推進ビジョン(案)」について質問を行った。

問 中心市街地の東西南北の軸となる4か所についての具体的な取組の方向性は？

答 ・山口駅通り 安全安心な歩行者空間の確保や歩いて楽しい沿道空間の実現などを通じたメインストリートとしての質の担保等を検討していく。
 ・中心商店街 店先等の空間の活用、休憩施設等の滞留空間の創出による滞在時間の延長等を検討していく。
 ・市役所広場 まちなか回遊のハブとなる、市民による多様な活用にあふれる広場としての将来的な活用イメージや事業スキーム等を検討していく。
 ・山口駅前広場 交通再編の検討や滞在環境の向上を図るための整備案や活用方策を検討していく。

問 今後の推進体制は？

答 スモールエリアごとに専門家や地元関係者、民間事業者、行政等で構成する推進チームを設置し、具体的な事業の検討を進めるとともに、プロジェクト会議で事業全体の調整を図る。また、市長を会長とする山口市まちなかウォークابل推進会議で、事業の検討状況の共有や意見交換を行うなど、官民が連携して事業を展開していく。

行政窓口等のキャッシュレス化

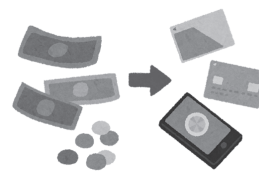
キャッシュレスシステムの導入は、市民の利便性向上、行政の業務効率化、地域のデジタル化の観点から非常に重要であることから、現状と今後の展開について質問を行った。

問 行政窓口でクレジットカードでの納付を可能にするための手数料補填に交付金等の活用をしてはいかがか。

答 クレジットカードによるキャッシュレス決済化については、収納コストの関係から現時点では導入しておらず、多様な決済手段が利用できるeLTAX(エルタックス)での電子納付を推進している。国からの交付金は、まちづくりの財源として活用しているが、納付手段の充実を図っていくことは非常に重要であると認識していることから、納付環境の向上に努めていきたい。

問 行政窓口、スポーツ施設や観光文化施設等の指定管理施設でのキャッシュレス決済の導入を進めてはどうか。また、観光分野での導入支援を求めるがどうか。

答 本庁舎の主な窓口、総合支所や各地域交流センターの行政窓口等にPOSレジシステムを導入し、44項目で利用できる。市県民税、固定資産税、都市計画税や国民健康保険料、介護保険料などは、コンビニ収納用バーコードを利用したスマホ決済アプリで納付できる。また、指定管理施設での導入は、コストに見合う利用料金の確保につながらないことや、現金とキャッシュレス決済が混在することで経理処理が複雑化する課題もあるが、利用者のニーズが多い施設には段階的に導入していきたい。観光分野での支援は、すでに導入された事業者との公平性も考慮しながら、他市の実例や効果を検証する必要がある。観光関連団体と連携し、観光客の満足度をさらに向上させる受入環境の整備を進めていきたい。



6月定例会

ピックアップ pick up

清掃工場への包括運営委託の導入

問 契約条件に委託料の減額条項、責任範囲、成果指標を明確に設定することが必要と考えるがどうか。

答 募集要項の中で示しており、契約書にも規定する。今後、優先交渉権者の決定後、契約締結協議において減額を講じる対象等を明確化し、双方合意の上で契約書において設定する。

問 行政側で技術的知見を持つモニタリング体制を維持し、チェック機能を強化するといった監視体制の確保が必要と考えるがどうか。

答 これまで同様、清掃工場の運転状況や設備構成、廃棄物処理に関する技術的知見を備えた職員に従事させる必要があると考えている。また、専門的知見を有する外部評価の体制についても検討している。

問 清掃工場の保全業務や薬剤、電力等管理業務、定期修繕などについて、包括運営受託事業者が円滑に部品を調達できる体制を確保すべきではないか。

答 本施設の性能を十分に発揮するためには、建設プラントメーカーが製造する特定部品の調達が重要である。そのため包括運営委託の募集に先立ち、建設プラントメーカーと特定部品の供給等に関する協定を締結することで、受託事業者への特定部品の供給を可能とする体制を整えた。これにより、建設プラントメーカー以外の参入を促し、競争性を担保するとともに事業者間の平等性も確保することができたと考えている。

意見書を国へ提出します !!

最終日に総務委員会から提案され、全会一致で可決しました。

意見書の全文は市議会ホームページに掲載しています。



再審法改正を求める意見書

冤罪被害者を一刻も早く救済するため、再審法を速やかに改正するよう強く要請するものです。



意見書の全文
(市議会ホームページ)

今後のスケジュール

8月 優先交渉権者の決定



10月 契約締結



令和8年度から5年間

包括運営委託業者による運営

議案等の審議結果

■全員賛成で可決した議案等

予 算

- 令和7年度山口市一般会計補正予算（第2号）
- 令和7年度山口市公共下水道事業会計補正予算（第1号）
- 令和7年度山口市一般会計補正予算（第3号）

条 例

- 山口市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市税条例の一部を改正する条例
- 山口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 山口市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 山口市祖父地区飲料水供給施設設置等に関する条例を廃止する条例
- 山口市祖父地区飲料水供給施設工事分担金徴収条例を廃止する条例
- 道の駅あいお設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市阿東総合交流ターミナル設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例
- 山口市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- 山口市議会議員及び山口市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市議会の議員の議員報酬及び非常勤の職員の報酬並びに費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 市道路線の認定について
- 消防ポンプ自動車の取得について（2件）
- 高規格救急自動車の取得について
- 山口市立小中学校校務用コンピュータの取得について
- 山口市立小中学校電子黒板等の取得について
- 市有財産の無償譲渡について
- 令和7年度山口市一般会計補正予算（第1号）に関する専決処分について
- 山口市税条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 山口市都市計画税条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 山口市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例に関する専決処分について

委 員 会 提 出

- 山口市議会会議規則の一部を改正する規則
- 再審法改正を求める意見書の提出について

請 願

- 再審法改正を求める意見書の提出に関する請願

【イメージ】



鴻南方面隊平川分団及び阿東第2方面隊生雲分団に配備される消防ポンプ自動車

【イメージ】



中央消防署に配備される高規格救急自動車

可決された高規格救急自動車の特徴は

ITS コネク트가装備され、緊急走行中、緊急車両同士の接近を自動で車内に通知することにより、交差点内での緊急車両同士の接触危険回避ができます。このシステムは、一般車両にも普及拡大中であり、搭載車両に対して緊急車両の接近が通知され、緊急車両に道を譲るための退避行動が取りやすくなるなど、迅速かつ安全な救急搬送をサポートするものです。



■賛否が分かれた議案等と審議結果（○は賛成、×は反対）

請 願	審議結果	未来志行山口	やまぐち有隣会	県都創生山口	公明党	高志会	市民クラブ	日本共産党	地域政党やまぐちの風
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	○	○	×
山口県農業試験場等跡地利用計画案の市民参加による検討協議会での審議を求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	○	×

山口市議会では、「総務」「教育民生」「生活環境」「農林建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。



ファイヤーリカバリー ステーション利用開始

消防職団員に対する健康管理対策として、公務中でも適切に休息や水分補給が行える環境づくりを推進するため、市内のコンビニエンスストアや道の駅の御協力の下、主要幹線道路沿いの21事業所をファイヤーリカバリーステーションと位置づけ、本年5月12日から一時的な休息場所として利用を開始した。

(担当部局：消防本部)

委員の意見

・消防職団員が躊躇なく適切に休息をとることができるよう、周知を積極的に行っていたきたい。

総務
委員会



中央消防署整備の進捗状況は

中央消防署は、現地での建て替えに向け、令和6年度から実施設計に着手した。設計を進めていく過程で、より安全かつ効率的な施工体制を確保するため、供用開始時期を令和9年度から令和10年度に見直した。また、本年6月から、仮設庁舎として利用する市役所別館の改修工事を行った後、同年10月下旬から、中央消防署の機能を仮設庁舎と大内出張所へ分散配置する。仮設庁舎が消防署であることを認識してもらうために看板を表示する予定としている。今年度中には、現中央消防署庁舎の解体工事に着手し、新中央消防署の令和10年度内の供用開始に向け準備を進める。

(担当部局：消防本部)



総務
委員会



マイナンバーカードの申請支援 今後もきめ細やかな対応を

マイナンバーカードの申請でお困りの方には、国のガイドラインに基づき、それぞれの事情に応じた申請支援を行える体制を整えている。

具体的な支援内容としては、戸籍住民課や各総合支所総合サービス課、さらに市内40か所の郵便局において、顔写真の撮影及び申請書記入のサポートを行っている。

加えて、身体的な理由や長期入院などの事情で顔写真の撮影が難しい方に対しては、市職員が施設へ出向いて申請を支援する出張申請サポートを展開しており、希望される施設と調整し、順次対応している。

今後、それぞれの事情に配慮した細やかな対応に努める。

(担当部局：地域生活部)



友好都市提携のその先は

本市は現在、アメリカ・ハワイ州ホノルル市との友好都市提携に向けた調整を進めており、6月8日には、機運醸成を目的としたイベントを開催した。

これまでの本市における姉妹・友好都市交流は、公式訪問団や市民訪問団の受入れなど、相互派遣による交流やイベントの開催が中心だったが、今後は、両市民にとつてのメリットを十分に考慮しながら、教育、観光、文化、物産等の様々な分野での交流についても検討していきたい。

(担当部局：交流創造部)

委員の意見

・姉妹・友好都市提携を進めるに当たっては、具体的なゴール設定や効果を測る指標の明確化が必要と考える。

生活環境
委員会



山口市ウェブサイト
(マイナンバーカードの
情報ページ一覧)

委員の意見

・写真撮影サービスや出張申請について、さらなるホスピタリティの向上のため、迅速かつ丁寧に対応していただきたい。

生活環境
委員会



就学援助制度の 見直しと利用促進の取組

山口市の就学援助制度では、平成24年12月の生活保護基準額を採用している。直近の基準を採用した場合、支給対象者の減少等が見込まれることから、見直しには慎重な検討が必要である。一方、国の特別支援教育就学奨励費においても生活保護基準が採用されており、令和6年4月に基準が改定されたことから、今後各自治体でも見直しが進む可能性があり、本市も令和8年度以降の見直しに向け、他自治体の動向を注視しつつ影響を慎重に検討する。

また、制度の周知については、保護者への情報伝達不足による利用控えを防ぐため、プリントや学校だより、市公式ウェブサイトに加え、学校メールの活用も検討し情報提供の強化を図る。

(担当部局：教育委員会事務局)



周防鑄銭司設置1200年記念事業の 展開とその周知について

本年は、周防国に鑄銭司が設置されて1200年の節目の年であり、鑄銭司郷土館の展示リニューアルオープンを皮切りに、企画展や記念講演会、史跡指定地で行う周防鑄銭司1200フェスの開催など4月から11月にかけて記念事業を実施することとしている。今後は、ポスターや市公式ウェブサイト、SNSを通じて情報発信に加え、東京・大阪の博物館でも各館の御協力により周防鑄銭司を紹介するスポット展示を行っていただくなど市内外へのさらなる情報発信に取り組み、山口市を訪れていただく機会の創出につなげていく。

また、関係部局との連携を深め、地域の歴史文化資源についてより多くの人々に知っていただき、実際に触れていただく絶好の機会としていきたい。

(担当部局：教育委員会事務局)



鑄銭司郷土館に展示されている新たに発見された銭種
【貞観永宝】
じょうがんえいほう

委員の意見

- ・学校メールは保護者への確実な情報伝達手段のため、積極的に活用し周知徹底を図ってほしい。

教育民生
委員会

教育民生
委員会



湯田温泉こんこんパーク 周辺道路の早期整備を

市道中央二丁目湯田温泉四丁目線は、美装化を5か年計画で実施しており、沿線の状況等も踏まえながら、今後も計画的に整備していく。

山口都市計画道路一本松朝倉線は、一部拡幅（歩道と停車帯の確保）に向け、都市計画の変更手続を進めており、早ければ来年度から詳細設計に着手する。また、市道上東湯田温泉五丁目線も一部拡幅に向けて沿線の関係者等と協議を進めている。

(担当部局：都市整備部)



徳地地域への 地域おこし協力隊の着任

4月15日に、「徳地地域の振興作物等の情報発信、栽培技術の習得」を活動テーマとして、新たに地域おこし協力隊2名が着任した。

(公社) 山口市徳地農業公社の支援をいただきながら、ピーマン、イチゴ、やまのいも等の同地域の振興作物や水稻の栽培知識、技術の習得を目指す。また、SNS等を活用した同地域の農業に関する情報発信にも取り組む。

隊員の退任後の定住を支援するとともに、同地域の農業の担い手確保・育成につなげていきたい。

(担当部局：農林水産部)

委員の意見

- ・隊員の退任後の定住に向け、住居・農地の紹介や農業施設（ビニールハウス等）の初期投資の軽減策等について検討いただきたい。
- ・SNS等での効果的な情報発信を期待する。

農林建設
委員会

委員の意見

- ・市内外から多くのお客様が湯田温泉こんこんパークにお越しになる。できるだけ早期に整備していただきたい。

農林建設
委員会



市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市

★議員が何を質問したか読んでみましょう! ★一般質問の制限時間は質問と答弁を合わせて50分です。
★質問と答弁の映像は各議員の二次元コードから見るができます。
※必要な場合には二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。※情報の受信にかかる通信料は利用者負担となります。

行政 新市誕生20年!まちづくりの評価と未来展望



問 新市誕生からのまちづくりの成果とその評価、そして新たなまちづくりの方向性について伺う。あわせて、次期市長選出馬の意向についての考えを問う。

答 新市誕生から20年の節目を迎え、新市のまちづくりにおいて予定されていた社会基盤整備も、ある程度完成に向けた見通しが立ってきた中で、合併モードのまちづくりの局面から、新たなまちづくりのモードに移行する重要な時期を迎えているものと考えている。新市のまちづくりを着実に仕上げ、そして、これからのまちづくりをしつかりと進めることが可能となるよう、皆様の協力を得ながら「ずっと元氣な山口」の実現に向けた取組を進めていく中で、次期市長選への対応を明らかにしたいと考えている。



都市 100年の大計に立ったまちづくり



問 本市の都市政策の柱の具現化には未来を見据えた道路網の構築が不可欠であり、山口・小郡両都市核を効果的に結び、農山村の人口定住・産業誘致に資するアクセス強化が鍵になると考える。未来を見据えたまちづくりと道路網について所見を伺う。

答 中核都市づくりをさらに発展させることが、引き続き本市の使命、未来の姿だと考える。その実現のため、山口・小郡両都市核の高次都市機能を地域住民が享受でき、安全安心で快適な移動が可能となる道路ネットワークを構築し、将来にわたり活力が維持されるずっと元氣な山口を目指す。新たな道路整備は、第三次総合計画に向け全庁的な検討を進めていきたい。



○その他の質問
○包括的相談支援体制の構築

農業 生産者が生産活動に集中できる環境構築を!



問 出荷調製作業の一元化で生産活動の向上が期待できる、農産物の地域内物流システムの構築について伺う。

答 本市南部地域は、タマネギ、キャベツ、ブロッコリーなどの高収益野菜の県内有数の産地となっている。更なる生産拡大には、作業の機械化、栽培管理の徹底、集出荷体制の整備が重要であり、市内農事組合法人からの要望等を踏まえ、本市からも県やJAに対して、市内へのタマネギの集出荷施設整備を強く要望してきた。高収益野菜の出荷調製の集約は、作業の効率化や野菜の安定供給が可能となり、生産農家の所得向上につながると思われる。施設の有効活用と生産者の環境づくりについては、引き続き、事業主体のJA等と協議していきたい。



○その他の質問
○未利用財産の有効活用

物価高騰対策で中間所得層への学校給食支援!

○子育て支援策

化

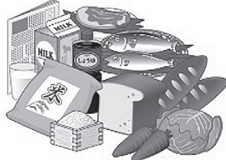
○行政窓口のキャッシュレス

○文化財の地方登録制度

●その他の質問

○国が閣議決定した財源を活用し給食費の支援を検討してはどうか。また、早急に学校給食無償化に取り組みべきと考えるが、所見を伺う。

答 国は、物価高騰に対応するため予備費の使用を閣議決定し、本市への配分額約8100万円が示された。国の交付金を活用し、学校給食食材費の高騰分に充てる方向で検討したい。全国市長会を通じ、無償化の実現に向け全額国費での措置を要望している。国の動向を注視し、緊急的な対応で国の財源を活用した補正予算措置を早急に検討する。物価高騰が続く中でも保護者負担が増えないよう取り組む。

公明党
栗林 正

新山口駅周辺の駐車場整備の方向性は?

今年度は基礎調査を実施する。令和8年度には、将来の駐車場需給バランスの分析を行うこととしており、これらの調査・分析結果を踏まえて、本市の取組方針及び今後のスケジュールを取りまとめ、来年度末を目途にお示しする。

問 今年度、新山口駅周辺駐車場基礎調査が実施される。調査事業において、いつまでに調査結果がまとめられ、その調査結果を踏まえて、今後どのように対策を進めていくのか、スケジュール感を含め伺う。

答 新山口駅周辺の駐車場においては、オフィス用駐車場が不足しているといった御意見や、土日や休日などには鉄道利用者が駅に近い時間に駐車できないといった実態も認識しており、こうした状況への対応として、今年度は基礎調査を実施する。令和8年度には、将来の駐車場需給バランスの分析を行うこととしており、これらの調査・分析結果を踏まえて、本市の取組方針及び今後のスケジュールを取りまとめ、来年度末を目途にお示しする。

高志会
伊藤 斉

移住定住につながる二地域居住の促進を

二地域居住の促進を図る。運用や関係人口の創出・拡大に向けた取組を進め、二地域居住の促進を図る。

問 二地域居住の促進の現状と課題、今後の方向性を伺う。

答 二地域居住には、自治会等への加入、ごみ収集などの行政サービスの利用など、自治体が対策を検討、対応すべき課題もあるとされている。本市では、これまでも二地域居住を一つの移住定住の形として捉え、令和4年度から関係人口の創出・拡大を目的とした関係人口創出促進事業に取り組んでいる。また、関わりしる創出モデル事業として地域の課題把握や住民との仲介を担う関係案内人の育成も進めている。今年秋を目途に移住サポートセンターを開設する予定であり、引き続き、空き家・空き地バンク制度の運用や関係人口の創出・拡大に向けた取組を進め、二地域居住の促進を図る。

市民クラブ
山見 敏雄

自衛隊による武器展示・ほふく前進体験の中止を



5月6日のレノファ山口FCのホームゲーム会場での展示

問 小郡地域交流センターで戦闘行為であるほふく前進を体験するイベントが行われる。子どもには戦争につながるものに近づいてほしくない、他者と自分の命を大切にする平和な社会で育ってほしい。社会教育施設として不適切な利用と考えるがいかがか。内容や目的等を踏まえ総合的に判断している。今後適切な施設運営に努める。

答 小郡地域交流センターで戦闘行為であるほふく前進を体験するイベントが行われる。子どもには戦争につながるものに近づいてほしくない、他者と自分の命を大切にする平和な社会で育ってほしい。社会教育施設として不適切な利用と考えるがいかがか。内容や目的等を踏まえ総合的に判断している。今後適切な施設運営に努める。

問 市内イベントで自衛隊が93式近距離地对空誘導弾を展示していた。否応なしに触れることで不快に感じる市民もいる。災害支援などの広報にとどめるよう要請すべき。自衛隊が適切に判断されるものであり、市からの要請は考えていない。

答 自衛隊が適切に判断されるものであり、市からの要請は考えていない。

日本共産党
尾上 頼子

新本庁舎の電気は地産の再生可能エネルギー！



太陽光パネルを設置した市役所新本庁舎

●その他の質問
○山口情報芸術センター

問 山口グリーンエネルギー株式会社による公共施設への電力供給の現状と目的や効果を伺う。

答 共同出資により設立した山口グリーンエネルギー株式会社では、市清掃工場の廃棄物発電及び太陽光発電による再生可能エネルギー電力を、市役所本庁舎や湯田温泉こんこんパーク等27施設に供給している。地産の再生可能エネルギーの活用による地域経済の好循環を目指すもので、小売電気事業を通じて得られた利益の地域への還元、市公共施設の電気料金の削減のほか、雇用の創出等も見込んでいる。



地域政党 やまぐちの風

竹中 一郎

たけなか いちろう



農山村エリアの農業振興、所得向上を！

新たな検査にも着手するなどの取組を進めている。



問 農山村エリアの多くである中山間地域、とりわけ小鯖地域のような狭隘な山間部や国道沿いの限られた小規模の農地しかない地域においては、農地の集約にも限界があり、耕作条件も厳しく、大規模化は難しい状況にあるが、農業後継者の確保や所得向上といった農業振興についてどのようにお考えか伺う。

答 新規就農者を確保し、営農が将来にわたり継続されるためには、一定の所得が得られる仕組みが必要と考える。これまでの水稻生産技術を生かした主食用米から飼料用米や米粉用米への転換や、小さな面積でもより高い収益性を見込める園芸作物への転換を進める取組と併せ、水稻作付による所得確保・向上を目指した



未来志行山口

米本 太郎

よねもと たろう



加齢性難聴者への補聴器購入補助制度の創設を

問 既に他市町には、独自の補助制度があるが、本市でも加齢性難聴者への補聴器購入補助制度を創設し、高齢者の生活の質と健康寿命の延伸を図るべきではないか。

答 創設には慎重な制度設計が求められるため、引き続き国に要望するとともに、加齢性難聴を取り巻く状況の把握に努めながら、次期計画策定の中で研究していきたい。

問 国民健康保険の人間ドック検査項目に聴力検査を追加し、補聴器購入補助制度と組み合わせることで、高齢者の健康寿命延伸に資する施策となると考えるがいかがか。

答 保険料の算定に影響を及ぼすことになるため、各医療機関での検査実施体制の検討や検査費用に係る医療機関との調整など、慎重に検討を重ねる必要がある。



日本共産党

大田 たける

おおた たける



地域クラブ運営の持続と保護者の費用負担の軽減

難しいと考えるが、保護者の費用負担軽減の観点から研究していきたい。



問 地域クラブ活動の円滑な運営には、保護者の負担と市の補助金だけでは不足せず、企業の資金援助や基金の創設、クラウドファンディング、企業版ふるさと納税等の活用を進めていく必要があると思うが、市の考えを伺う。

答 国においては、令和8年度の概算要求の中で、地方公共団体への財政支援や受益者負担の金額の目安等を提示予定とされている。市としては、国の示す内容を踏まえ、今後の予算編成の中で持続可能な公費負担の在り方を検討し、保護者の過度な負担とならない金額を設定し、お示ししたい。また、企業版ふるさと納税やクラウドファンディング等を恒常的な財源として見込むのは



高志会

伊藤 青波

いとう しょうは



文化 文化財保護に向けたふるさと納税制度の活用

(市公式ウェブサイト)
山口市歴史文化
基本構想(概要版)



- 問** 文化財保護のために、ふるさと納税制度の活用を提案するがいかがか。
- 答** 国、県、市の指定文化財を支援対象として、本年中にふるさと納税制度を活用できるよう、秋までに制度の詳細を定め、関係者と調整を行うなどスピード感を持って進めていく。また、未指定文化財を支援対象とすることについても、検討を進めていく。
- 防災・自然災害に対する防災・減災に向けた取組**
近年頻発する内水氾濫対策について伺う。
- 問** 令和8年度策定予定の雨水管理総合計画に基づく事業の効果が現れるまでには時間を要する。そのため、局所的な水路改修や河川の浚渫など、緊急的・短期的な対策に必要な予算を確保し、浸水被害の軽減に取り組んでいく。



未来志行山口
梶山 俊哉

すげやま としや



ごみ ごみ出し支援事業の拡充を求める

- その他の質問
- 家電リユース
- 多文化共生社会



- 問** ごみの戸別収集である本事業を、新しい行政サービスの一環として展開することは、高齢者層にも喜ばれるものと考えているが、市の所見を伺う。
- 答** 本事業は令和3年度から実証事業として、現在8世帯の戸別収集を行っている。本市では福祉サービスや共助の取組を通じて、高齢者の自立した生活を支援しており、今後も関係部局と連携しながら検討していきたい。
- また、複数の一般廃棄物処理業者が高齢者等に限定した家庭ごみの戸別収集を行っており、有効な手段の一つであることから、事業者の自主性に配慮しつつ必要な支援を行い、市民の利便性向上を図りたい。



公明党
山本 敏昭

やまもと としあき



子育て 子育て支援のさらなる浸透に向けて！

- 鋭意取り組んでいきたい。



- 問** 開所から1年以上が経過したことも家庭センターでは、どのように支援の拡充や改善を講じているか。併せて活用状況と今後の課題を伺う。
- 答** 相談内容は多岐に渡り、来所者も増え、認知度が高まっているが、相談支援が必要な方がまだまだいると認識している。早期に必要な家庭に支援が届く体制を整え、必要とされる支援メニューの拡充を図る。
- 問** 5歳児健康診査の浸透に向け、周知啓発の取組と健診後の支援について伺う。
- 答** 子育て保健課インスタグラム等への掲載に加え、今後は、ラジオやチラシ配布などで周知啓発を行っていく。健診後、支援が必要な方へは、専門職による個別相談を案内するなど、子育て家庭が安心して育児をできるような鋭意取り組んでいきたい。



未来志行山口
鳥養 祐矢

とりかい ゆうや



行政 キャッシュレスシステムの導入・促進について



- 問** 本市の現状と今後の展開について伺う。
- 答** 市民の利便性向上や業務効率化などを目的に、令和3年4月にPOSレジシステムを導入し、現在、本庁舎、総合支所、地域交流センター等に設置し、住民票の写し、戸籍証明書等の発行手数料のほか、粗大ごみ戸別収集手数料を含む44の手数料で、キャッシュレス決済が利用可能である。市税や保険料は、コンビニ収納用バーコードを用いたスマートフォン決済が利用可能で、市税は、地方税ポータルシステムを活用したクレジットカード払いによる納付も可能である。今後、利便性向上とともに、手数料支払いに伴う収入減も踏まえた費用対効果を考慮し、業務の見直し等の協議を進め、対象拡大に取り組んでいきたい。



未来志行山口
馬越 帝介

まこし たいしけ



産業 にぎわいではなく投資に対するリターンで測れ



問 市民からも、毎年金額が大き過ぎる、成果が目に見えない、経済政策と福祉政策を混同しているといった中心商店街への公金支出の在り方を疑問視する声は多くある。多様性あふれる商店街推進事業は、市が委託事業者を通して民間商業施設にテナントとして入り事業を実施しているため、市民の税金で家賃を払っているようなものだ。他市では、民間が地域に求められる機能を自らの負担で展開しているところもある。本事業の進め方については改善すべきであると考えてるが市の所見を伺う。

答 今後とも、商店街と連携の下、指摘された意見も踏まえ、創意工夫を重ねながら、より充実した本事業の取組を進めていきたい。



●その他の質問
○フードシェアリング

環境 安全安心で快適に暮らせるまちの実現にむけて



問 地域に配慮した太陽光発電設備の設置について、条例を導入すべきと考えるが、見解と現在の検討状況を伺う。

答 ゼロカーボンシティの実現に向けた太陽光発電を含む再生可能エネルギーの普及促進は重要である一方で、安全安心で快適に暮らせるまちの実現には、将来を見据えた生活環境の保全や土地の有効活用を図っていくことも重要であると認識している。これらの整合を図っていくためにも、条例によるルールづくりが必要であるという認識に至った。令和7年度中の条例によるルールづくりに向けてしっかりと取り組んでいきたい。



●その他の質問
○ICT教育
○公共施設等の利活用

都市 市民・観光客へのホスピタリティ機能とは？



問 山口市まちなかウォーカブル推進ビジョン（案）では、魅力的な都市空間の実現につながる公共的なごみ箱やトイレの設置が位置づけられていないが、今後、整備する予定はあるのか。

答 ごみ箱やトイレの設置といった具体的な取組は、今後立ち上げ予定の推進チームで検討することとなる。トイレは、来街者へのホスピタリティに重要な施設と考え、他市の事例も踏まえ推進チームにおいて研究していきたい。



国際 姉妹・友好都市交流事業の進捗は？

問 アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市との友好都市提携の進捗状況について伺う。

答 本年中の友好都市提携の締結をめどに調整している。今後、両市で合意ができれば第1発表したい。

農業 独自の食料安全保障で、米農家と市民を守る！



問 生産者所得の向上と消費者負担の軽減を両立させる山口市独自の米流通システムを導入すべきではないか。

答 本市が単独で米の安定的な流通網を構築し継続するには、かなり大きな仕組みが必要となる。先進事例や国の動向に注視し、農産物の安定供給や生産者の所得向上につながる取組について研究したい。



問 移住定住対策と空き家対策が相乗効果を生み出せばよいと考えるが、他市が実施している空き家の借上げ転貸事業を導入してはどうか。

答 他市とは空き家を取り巻く状況等が異なるため、今後の空き家増加状況を踏まえ、移住定住につながる活用の方策として検討していきたい。

●その他の質問
○今後の公民連携の在り方
○道路管理の省人化

行政 市職員の人材確保と人材育成

○地域と共に築く学校の在り方

●その他の質問

公務員の技術職の採用試験における低倍率が目立つが、本市の状況はいかがか。市の業務が高度化、多様化複雑化する中、職員のスキルアップが望まれる。そのため、業務目標の達成、能力、専門性を適切に評価し処遇すること、働きがいにつなげることが必要ではないか。

【答】 昨年度、大学・短大卒業程度の土木、建築職の採用実績はなく、社会人経験者の採用で必要な職員を何とか確保できた。市職員として働くことに誇りと生きがいを持ち続けられる環境づくりは重要であり、能力や専門性、実績等を見極めた上での処遇については、国や他自治体の状況を参考に検討していきたい。



やまぐち有隣会
山本 浩二

やまもと こうじ



行政 新たなまちづくりへの挑戦!

い。

地域に住み続けられる、定住実現のまちづくりにつなげた。



雇用の場市内のあらゆる地域から通える道路等ネットワークを維持・強化していくことで、住み慣れた市内21地域に住み続けられる、定住実現のまちづくりにつなげた。

【答】 地域コミュニティや日常生活を維持・構築する取組を21地域で進める一方で、中小企業の経営基盤の強化や起業創業支援といった産業振興施策を展開している。また、交通便利性の高い新山口駅周辺におけるオフィス進出支援や、南部地域における産業団地の整備と企業誘致、湯田温泉における観光産業の振興、農山村エリアにおける一次産業の振興等をそれぞれのエリアで展開している。

【問】 山口市全体が活性化するためには、21地域別の定住施策、なりわいづくりを行うべきではないか。



高志会
有田 敦

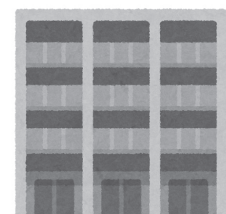
ありた あつし



行政 公共施設の責任と管理

めていきたい。

【答】 図書館との複合施設である秋穂地域交流センターは、土曜日、日曜日も開館している図書館とも連携し、迅速な対応を図る体制を整え、施設内には、秋穂総合支所の連絡先も掲示し、職員が対応できる管理体制を整えている。今後とも、安心して施設を利用できる適切な管理運営に努めていきたい。



【問】 子供を始めとした地域住民の居場所、たまり場である地域交流センターの管理体制について、例えば秋穂地域交流センターは、グラウンドやアリーナを有する図書館との複合施設であり、他の地域の施設との一定の公平性が保たれるようにサービスを提供することは行政の責任だと考える。そのため、土曜日、日曜日、祝日も管理者が必ず要と考えるがいか。

【答】 女性活躍推進の取組では、経営層や管理職を対象としたセミナーを通じて女性活躍がもたらす経営効果を共有し、経営者の意識改革による企業文化の見直しにつなげていきたい。人材確保支援策については、ニーズに対応した支援制度の拡充を図り、その実効性を高めるため、プッシュ型の広報活動を行っている。人材不足が深刻で女性の参画も進んでいない業種については、市職員が直接訪問し、支援制度の内容を丁寧に説明し、セミナー開催情報も、効果的な周知に取り組んでいる。



やまぐち有隣会
富田 正朗

とみた まさろう



産業 企業の人材確保に向けた支援策!

○人口減少社会

【問】 女性活躍推進に係る支援策の成果と課題を踏まえた今後の取組と、人材確保支援策の実効性を高める取組について伺う。



【答】 女性活躍推進の取組では、経営層や管理職を対象としたセミナーを通じて女性活躍がもたらす経営効果を共有し、経営者の意識改革による企業文化の見直しにつなげていきたい。人材確保支援策については、ニーズに対応した支援制度の拡充を図り、その実効性を高めるため、プッシュ型の広報活動を行っている。人材不足が深刻で女性の参画も進んでいない業種については、市職員が直接訪問し、支援制度の内容を丁寧に説明し、セミナー開催情報も、効果的な周知に取り組んでいる。



やまぐち有隣会
榎野 伸一

うえの しんいち



教育 不登校対策は、多機関連携への転換が急務！

- インクルーシブの遂行
- 地域共生社会の実現

●その他の質問
○多様性を受け入れる教育展開

問 不登校対策は、福祉部局等も交えた、早期発達年齢からの児童生徒の社会自立を見据えた包括的、多角的な支援体制が不可欠であり、その転換期に來ていると思うが、本市の取組について伺う。

答 新たに専門相談員2名を配置し、家庭訪問による人間関係づくりや、学校以外の場所での教育相談や学習支援を行うほか、社会福祉法人との連携による空き施設を活用した居場所づくりにも取り組んでいる。今後、スクールソーシャルワーカー、市子ども家庭センター等の他部局や医療・福祉等の様々な関係機関と連携を強化していきたい。



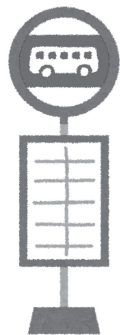

未来志行山口
坂井 芳浩

さかい よしひろ



施設 「湯田温泉こんこんパークちょっと前」はいかが

- その他の質問
- 公共施設等の管理
- 福祉の充実



問 今後整備する駐車場の台数や料金の有無などを伺う。また、最寄りのバス停名を「湯田温泉こんこんパークちょっと前」に変更することや、バス内で最寄りのバス停であることをアナウンスするなどの工夫について伺う。

答 一般用50台と障がい者等専用2台、合計52台の駐車場の整備を進めている。料金は1時間につき100円を基本とし、割引については、対象者や割引額等を含め、今後、指定管理者と共に検討する。バス停名の変更や車内アナウンスで最寄りのバス停を周知することは有効な手段と考えており、今後、地元の湯田地域やバス事業者にも意見を聞き、検討していきたい。



公明党
其原 義信

そのはら よしのぶ



議会からのお知らせ

あなたも市議会を傍聴してみませんか

令和7年6月定例会には、多くの方々が傍聴に來られました。中には「家族でやま学の日」を活用し、ご家族と熱心に傍聴された陶小中学校6年生の児童もおられました。

本会議や委員会の傍聴は、事前予約不要で、どなたでも市議会事務局(6階)で受付するだけでご入場いただけます。市議会事務局へは、本庁舎棟の南エレベーターまたは、中央エレベーターをご利用ください。中央エレベーターをご利用いただくと、降りてすぐの場所に受付があります。市政への理解を深めるためにも、お気軽にお越しください。

●傍聴された児童の感想

何回も質疑応答を繰り返していて、「山口市をもっとよりよくしたい」という気持ちが伝わってきました。そして、自分が伝えたいことをコンパクトに分かりやすくまとめていたので、授業で真似したいなと思いました。



市議会ホームページ
(傍聴)



傍聴席から見た議場の様子



傍聴受付窓口(市議会事務局)



5/13～5/14 総務委員会



防災先進都市を目指す取組について

●茨城県常総市

避難行動を自ら考え備えるマイ・タイムラインの普及や防災教育の実施、防災士の養成支援、広域避難協定の締結等防災の先進的な取組について視察しました。

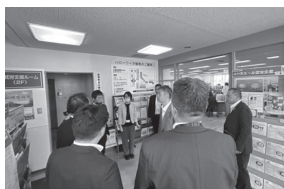
過去に被災された経験を基に実施される取組は実効性があり、参考となる取組でした。

障がい者千五百人雇用事業について

●岡山県総社市

障がい者千五百人雇用推進条例の制定や障がい者千五百人雇用センターの設置など、独自の施策を展開する総社市を視察しました。

就労や生活に寄り添った支援、古いアパートを活用したグループホームの設置など、支援体制も充実しており、福祉を地域の力として育てる姿勢は大変参考になりました。



ハローワーク総社での視察の様子

公共施設マネジメントについて

●埼玉県深谷市

全国に先駆けて導入されたマイナス入札制度や、トライアル・サウンディング事業など行政が抱える未利用地の有効活用の取組について視察しました。

本市の公共施設マネジメントを検討する上で参考となる取組でした。



マイナス入札の説明を受ける様子

5/19～5/20 教育民生委員会



岡山市家庭教育支援事業について

●岡山県岡山市

岡山市では、家庭の教育力向上に向けて、関係機関・団体の連携を進め、社会全体が一体となって家庭教育力を高める体制づくりを進めています。

家庭教育支援アドバイザーの派遣では、学識経験者だけでなく当事者の声を活かした多彩なメニューが展開され、身近な視点から保護者の共感を得やすく、内容も伝わりやすい点が大変参考になりました。

5/13～5/14 生活環境委員会



清掃工場の包括運営委託及び広域処理について

●奈良県橿原市

本市の清掃工場運営において、長期包括運営委託の実効性を高めるとともに、人口減少に伴う可燃ごみ処理施設の集約・広域化を検討するための参考とするべく、クリーンセンターかしはらの取組を視察しました。

清掃工場の長期包括運営委託の有効性や、複数の自治体が連携して効率的にごみ処理を行う取組について具体的な事例や詳細を知ることができ、大変参考になりました。

観光地等における環境整備について

●京都府京都市

観光誘客を目的としたおもてなし環境整備や観光課題の解消策を検討する際の参考とするため、京都市における観光地での公共トイレ整備やスマートごみ箱設置の取組を視察しました。

京都市では観光地の環境整備に積極的に取り組まれており、本市における観光環境整備策を検討・模索する上で参考になる内容でした。



設置してあるスマートごみ箱を見学する様子

道路維持管理業務の迅速化・効率化について

●愛知県岡崎市

AIを活用して道路の異常箇所を検知する道路維持管理支援サービス「みちログ」の取組を視察しました。本市でも実証的に取り組んでおり、これから導入を検討する上で大変参考になりました。

農業振興について

●山梨県甲府市

プロファーマー認定制度により市全体の農業の底上げも図るとともに、半農半Xの支援等による担い手の確保・育成、各地域に適した農業振興が可能となる地域リーディングプロジェクト等に市独自で取り組まれており、本市にも大変参考になる内容でした。

5/13～5/15 農林建設委員会



市営住宅の空き住戸を若者・子育て向け住宅に活用する取組について

●京都府京都市

空き住戸の活用と子育て世帯の定住促進のため、民間事業者と連携して住宅をリノベーションし賃貸する全国初の取組について現地を視察し、先進事例を研究することができました。



現地の市営住宅を見学する様子

議会の主な動き



3月

- 14日 議会運営委員会、会派代表者会議、山口市議会活性化充実協議会
- 27日 市議会だより等編集委員会(以下、「編集委員会」)

4月

- 4日 第91回山口県市議会議長会定期総会
- 9日 編集委員会
- 14日 会派代表者会議、議会運営委員会、山口市議会活性化充実協議会
- 23日 第156回中国市議会議長会定期総会(～24日)



山口市新本庁舎棟完成式典
(4月12日)

5月

- 12日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 13日 総務委員会行政視察(～14日)
生活環境委員会行政視察(～14日)
農林建設委員会行政視察(～15日)
- 19日 教育民生委員会行政視察(～20日)
全国温泉所在都市議会議長協議会第54回総会



湯田温泉こんこんパーク落成記念式典(5月27日)

6月

- 2日 会派代表者会議、議会運営委員会、執行部説明会
- 9日 議会運営委員会、第2回定例会初日(～30日最終日)
- 10日 議会運営委員会
- 16日 編集委員会
- 19日 議会運営委員会、山口市議会活性化充実協議会
- 26日 会派代表者会議、議会運営委員会、編集委員会
- 30日 議会運営委員会

おいでまや山口へ(行政視察の受け入れ)

全国各地から行政視察にお越しいただきました。

▼受け入れ団体(4月～6月)1団体

5月30日 兵庫県明石市議会

行政視察を通じ、本市の取組や魅力をPRしていきます。

編集後記

市役所が新庁舎へ移転し、初の議会が開かれました。市民に開かれた議会を目指し、議員・事務局ともに頑張りますので、ぜひ議場まで傍聴にお越しください。(倉増)

我々の任期も残り1年を切りました。これまでも各議員は日々各々の立場で市政の発展充実を目指し、議員活動に取り組んできました。今後も市民の皆様の声を市政に届け、安全・安心な山口市の構築に一人一人が尽力して参ります。(山本)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…8月20日(水)まで 請願の受付…8月27日(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2	3	4	5	6
	本会議 (初日) 10:00～					
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 10:00～ (一般質問・質疑)		10:00～17:00 ケーブルで生中継	本会議終了後 予算決算 委員会		
14	15	16	17	18	19	20
	敬老の日		予算決算 委員会 10:00～		教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	
21	22	23	24	25	26	27
	教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	秋分の日	総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～	総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～		
28	29	30	10/1	2	3	4
		予算決算 委員会 10:00～		本会議 (最終日) 10:00～		

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ホームページ
<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>



- インターネット録画中継
<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住 所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号

電 話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658

メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp

あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

「令和7年度山口市消防団消防操法大会」にて、計15分団(当日14分団)による競技が行われている様子です。

6月定例会では補正予算の審査や所管事務事業に関して、「地域のための視点」から質問や提言が行われました。各々の地域を守る想いで、山口市の未来へつなげる議論をしてみたいです。

市議会だより等編集委員会

委員長 大田たける 副委員長 中野光昭
委 員 鳥養祐矢・安河内淳朗・米本太郎・植野伸一
倉増賢治・山本敏昭・有田 敦・部谷翔大

次号は 11 月 15 日発行です